

平成24年(2012年)2月15日(水)

発行 越前市議会

編集 議会だより編集委員会

〒915-8530

福井県越前市府中一丁目13番7号

TEL:0778-22-3426

FAX:0778-23-3000

http://www.city.echizen.lg.jp/shigikai/index.html

越前市議会だより



「市民と議会との語る会」を開く

原発・新庁舎などを意見交換

5年目を迎えた市民と議会との語る会は、これまでに延べ30回を数える



市民の参加は、合計で16名でした。市民からいただいたご質問やご意見は、特に「原発問題」と「新庁舎建設問題」「下水道問題」「有害鳥獣対策」の意見交換を行いました。

【原発問題】
【新庁舎建設問題】
【下水道問題】
【有害鳥獣対策】

市民と議会との語る会を、11月2・8・9日午後7時から9月までの定期会で多くの議員が論議した、次の4つのテーマにしぼって、議会報告会を行い、その後、市民との意見交換を行いました。

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた新しい年をお迎えになられ市議会を代表し、心からお慶びを申し上げます。また、旧年中は、当市議会に対しまして、心温まるご支援、ご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、3月11日に発生した東日本大震災をはじめ台風9号や12号による水害など、非常に多くの災害に見舞われた一年でありました。またわが国の経済や景気の先行き等も欧州の債務問題や長引く円による影響で、依然不透明感を増しております。

このようなかで、地方を元気にする明るい材料として、北陸新幹線「金沢―敦賀間」の新規着工の政府決定や、コウノトリのつがいが兵庫県から本市に移送され、市内での飼育・繁殖に向けた取り組みがはじまるなど新たな一步を踏み出した年でもありました。

地方分権・地域主権の流れが加速し、住民自治の根幹をなす地方議会のあり方が大きく問われている中、越前市議会では、市民に開かれた議会、市民参加を推進する議会を目指して、昨年11月に市内3会場において「市民と議会との語る会」を開催し、たくさんのご提言やご意見等をいただきました。今後とも市民の皆様の真摯なご提言やご意見等を受け止めながら、議会に反映していきたいと思います。

結びに、今年が市民の皆さんにとって、幸多い年であることを心よりお祈りいたしますとともに、市議会へのさらなる支援をお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ
越前市議会議長 嵐 等

本号の主な内容

- | | | |
|------|-----------|----------|
| 2~3面 | ◆代表質問 | ◆予算・条例審査 |
| 4~5面 | ◆一般質問 | ◆議員コラム |
| 6面 | ◆議案等の審議結果 | |

1月臨時会の概要
平成24年第1回越前市議会臨時会が、1月12日に開かれ、市長から補正予算案1件が提案され、本会議の審議、委員会の審査を経て、採決が提出され、本会議の審議、委員会の審査を経て、採決の結果、いずれも可決・同意しました。また、代表質問には8会派8人の議員が会派を代表して質問に立ち、一般質問には10人の議員が市政全般にわたって質問を行いました。

12月定例会の概要

平成23年第6回越前市議会定例会が、11月30日から12月20日までの21日間にわたり開かれました。

この定例会では、市長から補正予算案7件、条例案5件、一般議案4件、人事案1件が提出され、本会議の審議、委員会の審査を経て、採決の結果、いずれも可決・同意しました。

また、代表質問には8会派8人の議員が会派を代表して質問に立ち、一般質問には10人の議員が市政全般にわたって質問を行いました。

代表質問

市民ネットワーク

福田 修治 ◎ 佐々木富基
三田村輝士 大久保恵子
玉川喜一郎

政新会

◎ 城戸 茂夫
川崎 悟司
安立 里美

誠和会

◎ 西野与五郎
川崎 俊之

公明党議員団

◎ 関 利英子
吉田 慶一

日本共産党議員団

◎ 玉村 正治
◎ 前田 修治

代表質問は、当初予算の編成時期にあわせて、各会派の政策提言・意見が反映できるよう12月定例会に実施しています。今回は8つの会派を代表して8人の議員が質問を行いました。
ここでは、紙面の都合上、1人2項目を選び、質問・答弁を要約して掲載しました。なお、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。
◎は会派を代表して質問された議員です。

◆市民との合意形成を第一に

庁舎建設を

〔問〕 新庁舎建設は、今後50年を見据えて「市民の最大のサービス施設」「災害時の拠点施設、避難場所」となり得ることが重要である。市民合意を第一に考え「新庁舎とまちづくりを考える組織」を作つて新庁舎のあり方を検討すべきではないか。

〔答〕 新庁舎建設は、市民の間に感情的な対立と混乱を招くことのないよう、慎重な合意形成を図ることが重要である。20年から30年後のまちづくりの議論を、市民を交えた組織作りをスタートすることが肝要であり、慎重かつ総合的に議論を積み上げていきたい。

◆原発問題について

◆脱原発と自然エネルギーの推進について

〔問〕 原子力安全委員会からの緊急防護措置区域の防災域が30kmに拡大され、越前市はほぼ全域が圈内に入ることになる。放射線測定については、子供を預かる保育園・幼稚園・小中学校を優先して定点測定すべきではないか。越前市独自で事業者との安全協定を申し入れる考えはあるか。

〔答〕 今回購入する放射線測定器は、納品され次第、市内17地区の公民館、学校・保育園等を中心に測定を行い、結果を市民に公示していきたい。安全協定については、緊急時の連絡通報体制について事業者と確約をしたところである。

◆新庁舎建設について

◆農業の現状認識と振興策について

〔問〕 合併特例債の5年間期限延長が確實視されるなか、東部への新庁舎建設を提案するなら、市長のこれまでの総合計画や中心市街地の計画等が形骸化することになる。確かに特例債は財政的に有利だが、借金にかわりはない。特例債よりも、市民が真剣に議論しあうための「市民まちづくり懇話会」の設置が必要ではないか。

〔答〕 庁舎とまちづくりの関係、人口減少社会や少子高齢社会との整合、情報化や庁舎機能の課題などを、十分時間をかけて慎重に検討し、市民の合意形成を図る必要がある。まちづくりなど、ベースの議論を市民を交えてスタートさせることが肝要である。

◆農業の現状認識と振興策について

◆農業の現状認識と振興策について

〔問〕 農業を取り巻く状況をどのように認識しているか。またどのように農家に夢と働きがいのある農政を推進するのか。

〔答〕 米価は下げ止まらず、生産調整面積は耕作面積のおおむね3分の1と、厳しさを増していると認識している。夢と働きがいのある農政に向か、消費者が求め

る安心安全な米のブランド化を図るために、JAと連携して特別栽培米を推進する。担い手農家の育成や集落営農の組織化を進め、環境調和型農業の推進や地産地消を図る。またコウノトリをシンボルとした、生き物と共に生ずる越前市を目指すことにより、ブランド化につなげ、付加価値の高い農産物の販売戦略に活かす取り組みを進める。

◆災害対策について

◆災害対策について

〔問〕 災害時における女性の視点の大切さを考え、防災計画等の方針決定に女性の参加が必要ではないか。地域の防災力向上のために、避難所運営訓練「HUG」の実施と災害発生時復旧業務・スマーズな被害者支援のため、平時から被災者支援システムの導入を提案したい。

〔答〕 12月下旬に開催する防災会議に、女性の参加を予定している。訓練の際には運営手順を含め、提案の「HUG」も参考にする。被災者支援システムは検証中のため本格的な導入について慎重に判断する。

◆新庁舎建設とまちづくりについて

◆新庁舎建設とまちづくりについて

〔問〕 政府が合併特例債の発行期限を延長する法案を閣議決定したが、市長は合併特例債を活用して庁舎を建設するという考えがあるのか。市総合計画の「コンパクトなまちづくりの推進」と新庁舎の位置との整合性はどう考えるのか。

〔答〕 期間延長の法案が可決されれば、新庁舎の建設に向け、庁舎とまちづくりの関係、コンパクトなまちづくりとの整合、庁舎機能のあり方などの課題に関して、慎重かつ総合的に検討を深め、時間をかけて市民の合意形成を図る必要があると考えている。

◆認知行動療法の活用で、うつ病の改善を

◆認知行動療法の活用で、うつ病の改善を

〔問〕 うつ病を治療し、社会復帰してもらうため、薬だけに頼るのでなく、うつ病の治療に有効な認知行動療法を活用すべきである。そのため早急に総合的うつ病対策ビジョンを策定して、市民を守る必要があると思うがどうか。

〔答〕 24年度に、市健康21計画の改定に着手し、こころの健康づくりについて検討する。認知行動療法は、うつ病を繰り返す慢性患者にとって有効であると聞いているので、市も心の相談において、相談者の状況に応じて認知行動療法を組み合わせたカウンセリングを行っている。

◆新年度からの「改正介護保険」について

◆新年度からの「改正介護保険」について

〔問〕 改正で要支援者サービスが「介護予防・日常生活支援総合事業」に置きかえられると、要支援の人の介護保険サービスが厳格な基準もない安上がりの不十分なサービスになるが、市の対応はどうか。また介護保険料の引き下げについての考え方。

〔答〕 この事業については、制度内容に不明な点が多くあり、導入する場合には高齢者の意思を反映した国会の附帯決議を十分尊重していく。介護保険料は、国で介護報酬改定や、低所得者への配慮などを検討しているので状況を注視している。

◆新年度からの「改正介護保険」について

◆新年度からの「改正介護保険」について

〔問〕 改正で要支援者サービスが「介護予防・日常生活支援総合事業」に置きかえられると、要支援の人の介護保険サービスが厳格な基準もない安上がりの不十分なサービスになるが、市の対応はどうか。また介護保険料の引き下げについての考え方。

〔答〕 この事業については、制度内容に不明な点が多くあり、導入する場合には高齢者の意思を反映した国会の附帯決議を十分尊重していく。介護保険料は、国で介護報酬改定や、低所得者への配慮などを検討しているので状況を注視している。

〔質問項目〕

市長の政治姿勢、新庁舎問題、原発問題、下水道事業、雇用対策、福祉行政、自治振興事業、農業政策、福井国体に向けての取り組み

〔質問項目〕

地方財政の課題、文教体育等の公的施設、新庁舎建設、防災計画（原発編）の見直し

〔質問項目〕

たけふ菊人形、原子力行政、農業問題、有害鳥獣、自治振興事業、吉野瀬川・服部川・浅水川の整備、新庁舎建設

〔質問項目〕

災害対策、「うつ・自殺」対策、子供の貧困の連鎖、デジタル教科書の普及、拉致問題

〔質問項目〕

新庁舎建設とまちづくり、改正介護保険、子ども育て新システム、住宅リフォーム助成制度、子どもの医療費無料化制度、たけふ菊人形

自由クラブ

◎題佛
臣一
嵐等

越前創政会

◎中西
眞三
小形
善信

越前クラブ

◎福田
往世
伊藤
康司

◆発達障害者支援について

問 早期支援の機会がなく、成人した発達障害者が社会福祉から大きく取り残されている実情は放置されではいけない。このことから発達障害児に対する早いうちからの教育的支援の推進と体制の整備をしていくべきではないか。

答 今後、乳幼児期から成人期に至るまで、ライフステージと障害に応じた適切な支援を継続して行うため、医療・保健・福祉・教育労働の各分野も関係機関等と連携して、一貫した支援に取り組む体制づくりを推進していきたい。

◆日の丸の掲揚について

問 国旗、日の丸は万物を育み育て恵みの力を与える偉大な存在で、日本民族の心の中に定着している。国民の祝日には各家族や職場、公共施設に国旗、日の丸掲揚の運動をいま一度、行政として全庁的に取り組んでいただきたいと思うがどうか。

答 国旗は本庁舎、総合支所にて年間を通じて掲揚している。日本人として誇りや自覚を持ち、国を愛する気持ちを持つことは大切である。国旗及び国歌に関する法律の制定趣旨を踏まえ、自発的な掲揚が望ましく、掲揚が可能な施設での取り組みを進める。

◆越前市の行政改革について

問 今年の3月に総合計画の基本計画を1年前倒しして改定したのに伴い、「新財政構造改革プログラム」を改定致したが、計画ばかりの先行でその具体的な進行管理が見えない。目標設定とその達成度合を議会にも報告されるべきではないか。

答 平成23年度から3年間、各部局にわたる実行計画を定め、年次的にその進捗管理を行っている。各年度での進捗や成果の公表に向け、平成23年上半年の進捗状況については、行財政構造改革推進委員会において、現在審議しているところである。

議案審議

- 12月定例会 -

総額9億8797万円の追加補正

(予算総額 528億9601万円)

◆一般会計 8億9150万円

(予算総額 319億3620万円)

◆特別会計 1億378万円

(予算総額 184億5525万円)

◆企業会計 ▲731万円

(予算総額 25億456万円)

予算審議

◆きめ細かな地域経済・雇用対策事業

1億8508万円

問 この事業は、入札参加資格登録者だけでなく、小規模資格登録者にも分割発注できるよう対応できないか。

答 入札参加資格者による一括発注を考えていたが、工事の内容によつては、中小零細の小規模資格参加登録者にも、できるだけ配慮して対応していく。

問 この事業で市内の2企業に3000万円ずつ多額の補助をしているが、地域経済にどのような効果をもたらしているか。

答 まず雇用の場の確保があり、人材の流出も防げる。従業員等の生活拠点を本市に置くことで学校、水道、下水、その他の公共投資に対する回収ができ、将来的にも固定資産税の確保及び増加等十分な投資効果が期待できると思う。

◆企業誘致事業 6109万円

問 この事業で市内の2企業に3000万円ずつ多額の補助をしているが、地域経済にどのような効果をもたらしているか。

答 まず雇用の場の確保があり、人材の流出も防げる。従業員等の生活拠点を本市に置くことで学校、水道、下水、その他の公共投資に対する回収ができ、将来的にも固定資産税の確保及び増加等十分な投資効果が期待できると思う。

◆外出支援サービス事業委託料 400万円

問 当初予算で900万円計上されているのに、なぜ今回追加補正となつたか。また外出支援サービスの料金区分が市内、丹南、それ以外の県内の3分類となつていて、走行距離による料金算定とならないか。

答 要介護者の重度化が進み、特に人口透析する通院者が増加したためである。走行距離については、国土交通省福井運輸支局からもメーター制が望ましいという意見をいただいているので、来年度見直しに向けて検討している。



越前市にやって来たコウノトリのつがい
(12月10日)

◆議案第79号 越前市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について

この条例制定に伴つて、具体的にはどこにだれを配置することを考えている

か。また特定任期付職員の業績手当は、特に顕著な業績を上げた職員とあるが、この判断基準はどうやって決めるのか。

答 想定される業務は、コウノトリがう里づくり推進事業と越前和紙制作用具の国的重要有形民俗文化財指定に向けた事業の2つである。特定任期付職員は、今回想定していないが、業績手当の判断基準は、職員募集要項の中で示した当初の業務内容より大きな功績があつたものを任期が終了する時点で判断する。

問 この条例制定に伴つて、具体的にはどこにだれを配置することを考えているか。また特定任期付職員の業績手当は、特に顕著な業績を上げた職員とあるが、この判断基準はどうやって決めるのか。

答 想定される業務は、コウノトリがう



クリスマス音楽隊の練習 (東公民館)



ALTによる英語授業 (武生東小学校)

12月定例会

一般質問

10人の議員が12月8・9日の2日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から、特に1人1項目を選び、ジャンルごとにまとめ質問・答弁を要約して掲載しました。なお、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

公民館

問 公民館講座開催事業予算と自治振興会事業予算の一体化により公民館主事の役割は、ますます重要なため、公民館主事の働く環境を改善しなければならないのではないか。
答 公民館主事の役割は大きく、人づくり、地域づくりのコーディネーターとしての役割が求められている。研修等により資質向上とモチベーションを高めるとともに、働く環境の改善に努めたい。

教育

問 「公民館主事の」
● 働く環境の改善を ■ 研修による資質向上と環境改善に努める
答 公民館講座開催事業予算と自治振興会事業予算の一体化により公民館主事の役割は、ますます重要なため、公民館主事の働く環境を改善しなければならないのではないか。
問 公民館主事の役割は大きく、人づくり、地域づくりのコーディネーターとしての役割が求められている。研修等により資質向上とモチベーションを高めるとともに、働く環境の改善に努めたい。

日本共産党議員団 玉村 正夫

問 「教員の多忙化問題」
● 解決策の取り組みは ■ 児童生徒と向き合う時間の確保
答 教職員の多忙化で子供の教育に影響が出でてはいけないので、今後も多忙化を軽減でききるように情報の共有化を図りながら、児童生徒と向き合う時間の確保に向け努力していきたい。

問 「小学校の外国語活動」
● 授業のマニュアル化は ■ 教材等を市のサーバーに格納して共有
答 「英語ノート、指導資料」を活用するほかに外国語指導助手（ALT）や教員が作成した教材や指導案を市のサーバーに格納し共同利用している。低学年、中学年については、カリキュラムの中に取り入れることは困難であるが、日常的ないざや活動の中に英語を取り入れて指導していきたい。

誠和会 川崎 俊之

問 「明性の確保のため、契約理由を再点検し、契約方法の見直し、競争入札を導入するなど契約事務の徹底した改善を求める。」
答 適正事務の確立とコスト削減に向けて、今すぐ各所属に適正な対応を指示するとともに、「随意契約見直し検討会議」を設置して規則の改正やガイドラインを作成し対応する。

問 「随意契約のあり方見直し」
● 契約事務の徹底改善を ■ 見直し検討会議を設置して対応
答 市民の間に様々な意見がある現状では、ベースとなるまちづくりの議論から時間をかけて丁寧に積み上げ市民も交えた議論を行うことが必要である。具体的な方法やメンバー構成、スケジュール等については、慎重に検討していきたい。

問 「新庁舎建設の市民懇話会」
● どういうスケジュールで ■ 慎重に検討していきたい
答 新庁舎建設に向けて、市民の合意形成を図る意味で、市民懇話会の設置が必要だと思うが、具体的にどういうスケジュールで進めていくのか。
問 市民の間に様々な意見がある現状では、ベースとなるまちづくりの議論から時間をかけて丁寧に積み上げ市民も交えた議論を行いうことが必要である。具体的な方法やメンバー構成、スケジュール等については、慎重に検討していきたい。

政新会 川崎 悟司

問 「新庁舎建設の市民懇話会」
● どういうスケジュールで ■ 慎重に検討していきたい
答 新庁舎建設に向けて、市民の合意形成を図る意味で、市民懇話会の設置が必要だとと思うが、具体的にどういうスケジュールで進めていくのか。
問 市民の間に様々な意見がある現状では、ベースとなるまちづくりの議論から時間をかけて丁寧に積み上げ市民も交えた議論を行いうことが必要である。具体的な方法やメンバー構成、スケジュール等については、慎重に検討していきたい。

政新会



「ふる里を活性化したい」「政治の信頼を取り戻したい」との志が、私の活動目標であり、その一つが議会改革です。市民から信頼される議会や議員になるにはどうすればいいか。特定の地区や支持者層のみを優先した行動を取れば、議会が多くの住民の意をからかげ離れてしまします。議会が真に市民から信頼される存在になるよう、市全体や議会全体のこととを念頭に議員活動をしてまいります。



政新会 安立 里美



私は、市議会の役割は「光の当たらないところに光を当てるもの」だと考えて活動してきました。これからも初心を忘れずに、議会基本条例に基づき市民に開かれた議会を目指して一層の議会活性化に取り組み、市民に信頼される議会活動を行います。また、地域活動や市民活動等を通じて新たな仲間とともに、希望の持てる越前市を目指して歩み続けます。



市民ネットワーク 二田村輝士



公明党議員団 関利英子

私は女性議員として、女性や子ども、高齢者の健康を守る視点で活動をしてきました。3月11日の東日本大震災では、被災地の女性議員が、女性や乳幼児、高齢者、障がい者などのさまざまなニーズに対し、行政では行き届かないところに手を差し伸べ、女性の視点の大切さが知らされる結果となりました。この教訓をもとに政策決定過程において女性の声を取り入れられるよう、活動してまいります。

鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書 丶全会一致で可決／

- ①地方自治体が行う被害防止施策（捕獲時の埋設費用、山際伐採対策を含む）に対する財政支援を充実すること。
- ②捕獲隊の高齢化による後継者育成のために、狩猟免許（第一種銃猟、わな猟）の新規および更新時の財政支援を拡充すること。
- ③有害鳥獣の正確な生息数の把握ができる調査方法を確立すること。
- ④維持の困難な電気柵をワイヤメッシュに取りかえるための財政支援や、効果的な有害鳥獣被害防止対策を構築すること。



イノシシの埋設処分（中津山町集落）



市内で暮らす避難者へ支援物資の配布

ガス

農業

原発・防災

答

問　越前エネライン(株)が4月からガス料金を15.94%引き上げる認可申請を行つたことに對して、市はどう考えているか。

答　当該法人は、専門性を生かして経営努力を行つてきたと認識しているが、赤字が5年間継続する状況にある。料金改定は、近畿経済産業局が妥当性を審査して決定されると思う。市は、これまで料金改定幅の抑制や利用者への周知を十分行うよう要請してきた。

市民ネットワーク 福田 修治

●市はどう考えるか　■料金改定幅の抑制と利用者への周知を要請

「イノシシ埋設処分の助成額」

●さらなる増額を　■実態把握と研究に努める

公明党議員団 吉田 慶一

問　越前市の東日本大震災の支援策として被災者の積極的受け入れ態勢を構築したらどうか。

答　被災地に向けて積極的に本市への移住を勧めるための施策は検討していないが、被災地から本市に転入される方々への生活相談や就労相談等については、しっかりと支援体制を取つて行きたい。

答　埋設処分については埋設場所や、埋設に係る労力の確保や費用負担が困難であると方を研究していきたい。

●「ガス料金値上げ」

問　越前エネライン(株)が4月からガス料金を15.94%引き上げる認可申請を行つたことに對して、市はどう考えているか。

答　当該法人は、専門性を生かして経営努力を行つてきたと認識しているが、赤字が5

議会史(旧武生市)を販売しています

- ▼第一巻 … 明治維新～昭和30年 7,000円
- ▼第二巻 … 昭和31年～49年 9,000円
- ▼第三巻 … 昭和50年～平成8年 10,000円
- ▼資料編 … 議会だより縮刷版 6,500円
- ▼完結編 … 平成9年～平成17年 6,000円



※5巻全巻を購入の場合、35,500円で3,000円のお得になります。

申込先 議会事務局
TEL (22) 3426

今日は、産業建設委員会委員のコラムを掲載しています。

議員

員

ラ

ム

誠和会 前田一博



私のモットーは、「情熱と行動力」です。昨年も、東日本大震災をはじめ、台風9号や12号に伴う水害など多くの災害が発生しました。市民の皆様が安全で安心して暮らせる越前市になるように、また活力のあるまちになるように、今後とも誠意をもって、市民のご意見を、市政に反映していくたいと思います。

市民ネットワーク 玉川喜一郎



対話をモットーに、情熱と正義感を持つて市政に臨みます。誰もが住みたくなる町・それは心豊かな町・自然豊かな町・活力のある町であると考えます。そんな町づくりのために、北陸初の議会基本条例制定のもと二元代表制の一翼を担う議会の一員として、市民と議会と語る会・自由討議などを通して市民から信頼される議会を目指し、市民の皆様とともに考え歩みます。

自由クラブ 嶽 等



地方分権・地域主権の流れが加速する中、地方議会のあり方が問われ、また市民の声を代表する議会の役割に対する期待も大きくなっています。私ども議会人は、市民の目線で考え方行動し、負託に的確に応えていく責任があります。市政における諸課題に対しても、これまでどおり「是々非々」の信念を持って、市民福祉のさらなる向上を願い行動していきたいと思います。

